

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 11 月 29 日 (2007.11.29)

【公開番号】特開 2006-163676 (P2006-163676A)
 【公開日】平成 18 年 6 月 22 日 (2006.6.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-024
 【出願番号】特願 2004-352367 (P2004-352367)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 2 6 E

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

医療機器、検査の種別、検査の日時を少なくとも含む検査状況の情報を入力する入力受付手段と、前記入力受付手段に入力された検査状況の情報を複数記憶する検査状況データ記憶装置と、

前記検査の実施計画を定量的に評価する評価関数を一つもしくは複数記憶する評価関数記憶装置と、表示手段とを少なくとも有するコンピュータで実行されるプログラムであって、

前記コンピュータに、

前記検査状況データ記憶装置から前記検査状況の情報を所定の条件に従って複数取得し、該取得した検査状況の情報から前記検査の種別ごとに時系列的に当該検査状況が配列化された検査配列を生成し、同一検査種別の検査が繰り返し行われているか否かを示す指標である検査連続度を算出し、該算出された検査連続度を評価関数として前記評価関数記憶装置に記憶し、前記評価関数を最大もしくは最小にする前記検査の実施計画を一つもしくは複数算出して前記表示手段に表示させることを特徴とするプログラム。

【請求項 2】

医療機器、検査の種別、検査の日時を少なくとも含む検査状況の情報を入力する入力受付手段と、前記入力受付手段に入力された検査状況の情報を複数記憶する検査状況データ記憶装置と、

前記検査の実施計画を定量的に評価する評価関数を一つもしくは複数記憶する評価関数記憶装置と、表示手段とを少なくとも有するコンピュータで実行されるプログラムであって、

前記コンピュータに、

前記検査状況データ記憶装置から前記検査状況の情報を所定の条件に従って複数取得し、該取得した検査状況の情報から前記検査の種別ごとに時系列的に当該検査状況が配列化された検査配列を生成し、前記検査状況の情報のうちの前記検査日時と前記検査配列とから、前記検査配列毎に検査処理時間を予測する検査処理時間予測関数を生成し、該生成された検査処理時間予測関数を評価関数として前記評価関数記憶装置に記憶し、前記評価関数を最大もしくは最小にする前記検査の実施計画を一つもしくは複数算出して前記表示手段に表示させることを特徴とするプログラム。

【請求項 3】

請求項 2 に記載のプログラムにおいて、前記検査状況の情報のうち前記検査配列に対して、同一検査種別の検査が繰り返し行われているか否かを示す指標である検査連続度を算出し、前記検査処理時間予測関数は、前記検査連続度毎に予測される検査処理時間を生成することを特徴とするプログラム。

【請求項 4】

医療機器、検査の種別、検査の日時を少なくとも含む検査状況の情報を入力する入力受付手段と、前記入力受付手段に入力された検査状況の情報を複数記憶する検査状況データ記憶装置と、

前記検査の実施計画を定量的に評価する評価関数を一つもしくは複数記憶する評価関数記憶装置とを有する医療機器稼動計画立案支援システムにおいて、

前記入力受付手段に入力された検査状況の情報を基に前記評価関数を最大もしくは最小にする前記検査の実施計画を一つもしくは複数生成し、前記検査状況の情報の実施計画を計算する実施計画生成手段と、前記実施計画を編集する実施計画編集手段と、前記編集結果を記憶する実施計画記憶装置とを備え、

前記実施計画生成手段は、

前記検査状況データ記憶装置に記憶された前記検査状況の情報から前記検査の種別ごとに時系列的に当該検査状況が配列化された検査配列を生成する検査配列生成手段と、

同一検査種別の検査が繰り返し行われているか否かを示す指標である検査連続度を算出する検査連続度算出手段を少なくとも有することを特徴とする医療機器稼動計画立案支援システム。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の医療機器稼動計画立案支援システムにおいて、少なくとも医療機器、検査種別、検査日時を含む前記検査状況を記した稼働状況データを記憶する稼働状況データ記憶装置と、前記稼働状況データから前記評価関数を生成する評価関数生成手段とを有することを特徴とする医療機器稼動計画立案支援システム。

【請求項 6】

請求項 4 に記載の医療機器稼動計画立案支援システムにおいて、前記実施計画もしくは前記編集した実施計画から収支計算を行う収支計算手段を有することを特徴とする医療機器稼動計画立案支援システム。

【請求項 7】

請求項 4 に記載の医療機器稼動計画立案支援システムにおいて、前記検査の前記実施計画を、他の情報システムに通信回線を介して配信する実施計画提供手段を有することを特徴とする医療機器稼動計画立案支援システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】医療機器稼動計画立案支援システムおよびプログラム